

## 2022年度 島根県市町村農林水産業振興対策協議会

# 研修会実施報告

### 1 開催趣旨

林業の成長産業化の実現と森林資源の適切な管理の両立を図る、森林経営管理法が施行されてから3年が経過し、市町村が仲介役となって所有者と林業経営者をつなぐ「新たな森林管理システム」の取組が本格化している。

こうした背景の中で、県内における製材用原木の需要拡大や林業就業者の確保をより一層推進するため、製材工場、共販市場などの現場を視察する。

また、農業分野では、ICTを活用した土壌管理、条件不利地域の地域特性を活かした経営や、小水力発電などの先進的な取組を視察することにより、県内の農林産業の一層の振興に資することを目的として研修会を実施した。

### 2 実施日・内容

令和4年9月29日（木）13：00～30日（金）15：00

[9/29] 参加人数：23名

#### 【視察①】

株式会社佐々木馬一商店（益田市久々茂町）

講師：株式会社佐々木馬一商店 代表取締役 阿知波 雄一郎 氏

スギを主とした住宅用資材（羽目板、床材、構造材、羽柄材等）を製造。県外（中部や近畿等）向け製品出荷量は、県内向け出荷量を上回る。原木消費量・製品出荷量は県内トップクラス。



【視察②】

益田木材共販市場（益田市須子町）

講師：島根県森林組合連合会 専務理事 佐藤 隆 氏  
益田事業所 所長 俵 則和 氏

島根県森林組合連合会が運営する木材市場の一つ。木材の共同販売等を行う。  
買方は、益田市内の事業者のほか、広島の実業体も含む。原木取扱量は県内3位。



【視察③】

伸和産業株式会社（益田市虫追町）

講師：伸和産業株式会社 代表取締役 篠原 憲 氏  
常務取締役 青山 静佳 氏

平成 17 年から若い社員の採用を開始。社員の働き方も、「日給・月給制、日曜・祝日定休、労働時間が定まり、年中の仕事量の変動がない」と安定。林業の社会的地位向上、地域貢献を目標に掲げ、原動力となる人づくりにも力を注いでいる。



【視察④】

益田市農業再生協議会（益田市喜阿弥町）

講師：島根県西部農林水産振興センター 技師 松本 拓巳 氏

益田市農業再生協議会（益田市農林水産課、県農業部、J Aの各部会など）がI C Tを活用した農業に取り組む。気温、湿度、炭酸ガス濃度等のハウス内環境を「みどりクラウド」によりモニタリングし、データを用いた栽培技術の向上や適期管理により収量向上を目指す。



[9/30] 参加人数：25名

【視察①】

バイオマス発電所

講師：津和野フォレストエナジー合同会社

地域エネルギーアドバイザー 久保 睦夫 氏

フォレストエナジー株式会社（東京）が、津和野地域から集材した原木を活用し、木質バイオマス発電所を新設。これに合わせ、津和野町が、林業の活性化を目指してチップ製造保管施設を整備。



【視察②】

大井谷棚田

講師：吉賀町産業課 課長 堀田 雅和 氏

地元住民全戸が参加した「助（たすけ）はんどうの会」が大井谷の棚田を活用した地域づくりに取り組む。  
平成12年からは「大井谷棚田トラスト」による棚田保全の取組を開始。



【講義・視察③】

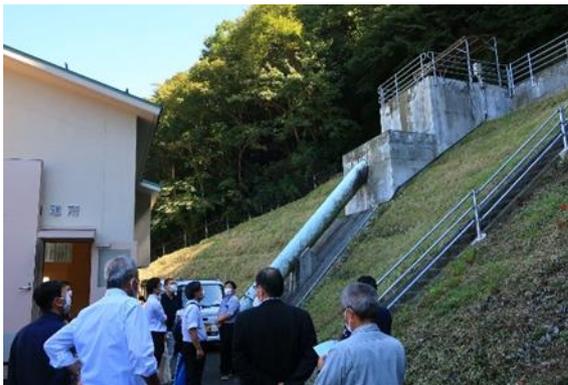
吉賀町における有機農業・小水力発電の取組について

講師：吉賀町産業課 課長 堀田 雅和 氏

柿木地域振興室 主任 海谷 尚 氏

40年前から有機農業に取り組み、現在、広島県内のアンテナショップ、デパートなどでも販売中。7月には広島でのイベントも実施。

J Aの小水力発電所を町が取得更新。売電収入のうち2千万円を子育て支援、給食無料化に活用。



【視察④】

水源公園

講師：吉賀町企画課 課長補佐 深川 竜也 氏、主幹 石川 匡哉 氏

高津川の源で県名水百選に選定されている大蛇ヶ池を中心とした公園など、地域の資源や魅力を活かした取組



【視察⑤】

コウヤマキギャラリー

講師：コウヤマキギャラリー指定管理の会 代表 榎田 祥恵 氏

山陰地方で唯一のコウヤマキの自生林や豊かな自然資源など、地域の資源や魅力を活かした取組

